



落語会 開催しました

本年度最後の自治協議会福祉部・花水木の会・ふれあい隊合同行事の落語会が3月26日（日）に開催されました。地区民49人に参加いただきました。出演者はたんたん落語会の春歌亭丹馬さん・迷探亭小ん南さん・たんたん落語笑年団の春乃そよかぜさん（中3）・ほしぞら亭きりりさん（中1）・初高座の天空亭ちなほさん（小5）の5人でした。熱演・熱弁で会場には笑いや拍手が起きていました。久しぶりの落語会で満足していただけたのではないのでしょうか。



“学びの里” 看板設置お礼

3月17日（金）5・6年生より自治協議会及び学びの里プロジェクトに看板設置お礼のあいさつにきていただきました。模造紙には全校生の学びに対する頑張る姿勢が書かれており喫茶室に掲示しています。



春休みこども青谿書院塾

3月28日（火）こども青谿書院塾がふれあい倶楽部ホールで開催されました。小学生18人が参加で春休みの課題持参で行いました。



ふれあいの日 からのお知らせ

こんなにかわいらしいポーチが出来ました。
50cmファスナーと50cmのリボンが材料です。
5月のふれあいの日は5月17日（水）の予定です。



身近で見られる植物 ⑳

(ヤマルリソウとキュウリグサ) 〈ムラサキ科〉

このふたつの花は、同じムラサキ科で、花の形が良く似ています。そして、ワスレナグサにも似ています。

ヤマルリソウ(写真上)は三谷道の少し湿った山側の斜面で見られます。

キュウリグサ(写真下)は畑や庭の片隅に生えている雑草で、2mmほどの小さな花ですから、よく見ないとわかりません。

この4月からのNHK朝の連続テレビ小説「らんまん」は、そんな植物に夢中になる主人公のお話のようですので、参考になるかもしれませんね。



自転車乗車用ヘルメット着用が努力義務化!!

令和5年4月1日より道路交通法の一部改正により全ての自転車の運転者が乗車用ヘルメット着用を務めて安全運転を心掛けましょう。



お知らせ
4月17日(月) 福祉部・地域づくり部部会
4月18日(火) 文化部・体育部部会
4月19日(水) 理事会
4月28日(金) 宿南地区自治協議会総会

4月30日(日) 全戸日役
(青山区・口三谷区・奥三谷区除く)
5月1日(月) 養父市議会報告会



草庵先生紹介

日記 50



前庭に植えられ大きく育っていった松の木。この木は昭和30年代に枯れた
濱 篤さん作

「今日、腹の調子がよくない。横になったり起きて座ったりする。青々とした山を見ていた」(嘉永元〈1848〉年6月12日)「揮毫2、3枚する。緑の山を望む」(同年9月7日)

青谿書院から見える前の山は、池田草庵のお気に入りの景色だ。気分がよくないときや、ひと仕事終えてほっとしたときなどによく眺めている。草庵は前の山の小さい松の木を書院の庭に植えたことがある。「塾生を連れて前山に登る。小さな松の木を2、3株抜いて庭に転植する」(弘化4〈1847〉年10月1日)

前の山の景色を眺めているだけでなく、そこにある小さな松の木を塾生と共に書院の庭に移植したのだ。その松の木はその後、書院の庭で大きく育った。前庭には松だけでなく、樅や檜の木も植え、それらも大きく育った。こういう草庵について、草庵の孫に当たる池田紫星は、次のように書いている。

「前庭に松と樅と檜の三樹を植えた草庵は、塾生にこれらの木のように高い天をめざして生きてほしい、と言っていた。草庵その人は、松のごとく精高に、樅のごとくに端正に、檜のごとく堅実な生涯を黙々と完成することに努めていた」(伝記「池田草庵」〈池田紫星著〉から)

前の山の「一本の松」について次のようなエピソードを草庵自身が書いている。

「書院の前山の上に40~50年ぐらいの一本の松がある。その幹は高くそびえ、緑の枝葉は低く広がり、書院の庭の竹と相対していておもむきがある。私は、いつもそれを見て楽しんでいる。近頃のことだ、1人の木こりがその松の木を斧でまさに伐ろうとしていた。私は、その木の代金を倍にしてこれを買った。書院からいつもみる景色を失わないためである」(「偉業餘稿」405~406条)

自然の景色を守るために、まさに切られようとした一本の松の木を草庵は代金を支払って残してもらったのだ。

池田草庵先生に学ぶ会